



酒匂の清流

令和4年12月20日(火)発行

校長 津田 将美

主体性から生まれるもの

本校のグランドデザインに、今年度から新たに「主体的」という言葉がちりばめてあります。(グランドデザインは学校だより2号の裏面及び松田小学校ホームページ「校長挨拶」の2ページ目に掲載してあります)昨年度の6年生が主体的に様々な活動を行いながら、全校児童のすばらしいお手本となってくれたことを「松田小学校児童のあるべき姿」ととらえたからです。


今年度の6年生も、卒業生からこの言葉を引き継ぎ、「主体的」を意識しながら多くの活動に取り組んでくれています。体育発表会然り、松田町クリーンアップ大作戦もまた然り。

グランドデザインに入れ込んだことで、職員もそれを意識し、主体的に動きながら子どもたちの主体性を伸ばそうと日々努力してくれています。

14日に、3年生が無事に校外学習に行ってきました。これで、修学旅行、林間学校を含めてすべての学年で校外学習・宿泊的学習が実施されたこととなります。実に3年ぶりです。

3年生のテーマは「主体的な校外学習」です。子どもたちは事前に訪問する施設や行き方などを調べ、自分たちで学習を創り出そうとしていました。私もいっしょに連れて行ってもらいましたが、班行動を基本として、本当に自分たちで考え、自分たちから行動する学びができていたと感じました。

主体性から生まれるもの…、それはこの日の子どもたちの会話の中からも見えてきます。

「あそこの席、空いているから座って大丈夫だよ。」

「班の人といっしょにいた方がいいから、ここに立ってる。」(電車の中で)

「この電車に乗っていいのかな…。駅員さんに聞いてみよう。」

(箱根登山鉄道の乗り場で)

「そろそろ時間だよ。みんな、行こう。」

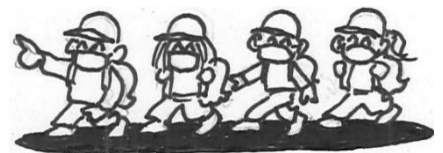
「先生が話すよ、静かに。」(様々な場面で)

「のどが渴いた…」

「テラスに行かないと飲めないから、みんなでテラスに行こう。」(地球博物館にて)

「私、ちくわ苦手なんだ…」

「焼きたてだと、きっとおいしいよ。」(かまぼこ博物館にて)



子どもたちは、主体的に動く中で、協調性や仲間意識、他を思いやる心、そして心に芽生えた思いを行動に移す力など、しっかりと身に付けてきているようで、とても頼もしく感じました。何よりも子どもたちの表情が、「主体的に動くことへの達成感」を感じているようで生き生きとしていました。共に活動することが、とても快かったです。

コロナ禍でも少しずつ戻ってきた教育活動の中で、更に「主体的」に動きながら、心も体もたくましく成長していったほしいと思います。

ちなみに「ちくわが苦手」だと言っていた何名かは、焼きたてのちくわの香にさそわれ、おいしく食べることができました。私も、ちくわ作りは初めてでしたが、とても楽しく、主体的に参加することができました。

こんなにおいしいちくわを食べたのは、生まれて初めてです。



11月30日には、4年生の校外学習が実施されました。社会科の学習の一環として、宮ヶ瀬ダム・厚木防災センターへ行ってきました。私はJR松田駅にて見送りでしたが、バスに乗り込む子どもたちの表情は、希望に満ちたものでした。

水源としての宮ヶ瀬ダムを知り、防災センターで災害について体験的に学ぶことにより、社会科の学習がより深まったことと思います。

本校の4年生は、総合的な学習の時間でも福祉や地域のことを学び、多くの地域の先生から特別授業をしていただきました。

恵まれた地域人材や施設等を大いに活用しながら、今後も体験的な学びを広げていきたいと思っています。



3年生は年間を通して、総合的な学習の時間に「みかん作り」の学習をしています。今年度も山口敬一先生にお世話になり、定期的のみかん山に通い、みかんの育つ様子や栽培の工夫、努力、農家の方の思いなどを学んできました。

12月9日には、みかんの学習も最終回となり、山口先生のご厚意もあり、みかんの収穫をさせていただきました。おいしいみかんを食べながら、楽しく意欲的に学習のまとめをすることができました。



3年生は今年度、初めて松田警察署の見学を行うなど、地域教材の開発も進んでいます。



令和4年度のプログラミング学習が終了しました。今年度も講師の方々、立花学園からのボランティア、保護者ボランティアの方等、多くの方のご支援・ご協力をいただき、無事に学習を終えることができました。

松田小学校プログラミング・デイのHPに掲載された子どもたちの声を紹介します。

【5年生：Scratch】

○今日の自由にやる活動が楽しかったです。全部うまくいくことばかりじゃなかったけど、結果、上手に完成してよかったです。

○風船割りゲームなど、いろいろなことができて楽しかった。難しいこともあったけれど、自分の思ったとおりにできたり、改造したりできた

【6年生：Processing】

○ボランティアの方たちに教えてもらうことで、たくさんの事を学べたと思うから、その教えてもらった事をむだにしないくらいのゲームを作って、実力で感謝を伝えたいです。

○プログラミングをやってきて分からないときに、分かりやすく教えてもらってとてもうれしかったし、自分たちがプログラミングできるように、準備などいろいろなことをしてもらったこととても感謝しています。2年間ありがとうございました。信号機のプログラムを理解して、応用できたことがうれしかったです。

すべての内容・感想は、松田小学校プログラミング・デイのHPから見るすることができます。

(で検索)

次年度以降も保護者ボランティアさんを募集しています。興味のある方は、学校までお問い合わせください。子どもたちと共に楽しむ意識でご参加いただけたらと思います。

令和4年も、残すところあとわずかです。来年も、充実した毎日が過ごせますように…。今年もいろいろとお世話になりました。ご家族そろって、良いお年をお迎えください。